



DS-7604HI-S Series DVR

ユーザマニュアル

V1.1.0 N

2012年 6月

株式会社ジャバテル

COPYRIGHT NOTICE

Copyright © 2010 by HIKVISION Technology Corp. All rights reserved.

HIKVISION へ書面による許可なしに、電氣的、機械的、磁性的、光学的、化学的、もしくは手動、いかなる形式や手段を用いて、このドキュメントの全てもしくは一部の複製、転送、配信、検索システムに保存やコンピュータ言語を含む他の言語への翻訳を禁じます。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

DS-7604HI-S Series DVRをご導入いただきましてありがとうございます。

ご使用前に、本マニュアルと、設置マニュアルをよくお読みください。

なお、下記の注意事項を堪忍して下さい。

- 通気性の良い、粉塵の無い環境でご使用ください。
- 本製品は、屋内でご使用ください。
- 水気や液体がかからないようにして下さい。
- 工場などの環境ではご使用にならないでください。
- 装置は安定した棚や机の上に設置してください、振動や落下による衝撃は故障の原因となる。
- U. P. S. 装置 (無停電電源装置) をご使用になることをお勧めします。
- 周辺機器や内蔵機器の取り外し/取り付け作業は、必ず主電源を切ってから行なって下さい。

COPYRIGHT NOTICE	2
1. 製品の紹介	5
1.1. 概要.....	5
1.2. NVR 仕様	5
1.3. NVR の接続.....	7
1.4. NVR の操作.....	7
1.4.1. フロントパネルからの操作.....	7
1.4.2. リモコンからの操作.....	9
1.4.3. マウスからの操作	10
1.4.4. ソフトキーボードからの操作	11
2. NVR の基本設定.....	12
2.1. NVR の起動.....	12
2.2. NVR のシャットダウン	13
2.3. 日付と時刻の設定.....	13
2.4. 状態確認	15
2.5. NVR ネットワークの設定.....	15
2.6. カメラの接続.....	16
2.6.1. IP カメラの追加.....	16
2.6.2. アナログカメラの追加	18
3. ライブ映像.....	19
3.1. ライブ監視操作	19
3.1.1. 画像調整.....	19
3.1.2. PTZ コントロール.....	20
3.1.3. 音声	20
3.1.4. 全画面表示	20
3.2. パタンの切り替え.....	21
3.3. カメラ映像の配置設定	21
4. 録画と映像品質.....	23
4.1. 映像品質の設定	23
4.2. クイックスケジュール設定	24
4.3. アドバンスドスケジュール設定.....	25
5. 再生.....	27
5.1. 録画ファイルの検索	27
5.2. 複数カメラを同時再生	28
6. ビデオのバックアップ.....	29
6.1. ビデオクリップのバックアップ.....	29
6.1.1. ビデオクリップの作成.....	29
6.1.2. ビデオクリップのバックアップ	30
6.1.3. 録画ファイルのバックアップ	31
7. システムの設定.....	33
7.1. ユーザ管理.....	33
7.1.1. リモートユーザの追加	33
7.2. PTZ カメラの設定	34
7.2.1. PTZ カメラの基本設定	34
7.2.2. PTZ カメラのテストと設定の編集.....	34
7.2.3. PTZ カメラのプリセット設定	35
7.3. モーション検出とイベント通知.....	36
7.3.1. モーション検出の設定	36
7.3.2. アラーム入力とトリガーの設定	37

7.3.3.	イベント通知.....	39
7.3.4.	E-mail の設定.....	40
8.	カメラの設定.....	41
8.1.	プライバシーゾーンの設定.....	41
8.1.	カメラ妨害検出の設定.....	41
8.2.	ビデオロス検出の設定.....	42
8.3.	OSD の設定.....	43
9.	NVR の管理.....	45
9.1.	システムの管理.....	45
9.1.1.	ファームウェアのアップグレード.....	45
9.1.2.	初期化.....	45
9.2.	システムログビュー.....	46
9.3.	システムメニューのロック.....	47
10.	iPhone、iPAD、Android と連携.....	49
10.1.	IOS の場合.....	49
10.2.	Android の場合.....	52
11.	FAQ.....	55

1. 製品の紹介

1.1. 概要

DS-7604HI-Sシリーズは、アナログとIPカメラの両方を同時に接続可能な、ハイブリッドDVRである。H. 264で映像を圧縮する。エンコードとデコード回路を搭載し、高品質なビデオを記録、再生することが可能である。なお、遠隔地からのリモート操作にも対応される。



1.2. NVR仕様

- 圧縮
 - ・ アナログチャンネルは、デュアルストリーム圧縮に対応（メインストリームは4CIFまで、サブストリームはCIF解像度まで）
 - ・ ビデオエンコードはそれぞれのチャンネル毎に設定することが可能。（解像度、フレーム速、ビットレート、品質）
 - ・ 通常時とイベント時の録画設定を併用することが可能。
 - ・ すべてのチャンネル画像のみ、もしくは、音声同期の両方の設定が可能。
 - ・ ウォーターマーク機能を搭載
- 監視機能
 - ・ 3つの独立インターフェース（VGA, メインコンポジット、スポットコンポジット）で画像出力。
 - ・ 高解像度VGA出力 1280*1024。
 - ・ 手動/自動での表示切り替えとインターバル時間の設定機能。
 - ・ チャンネル非表示設定機能。
 - ・ すべてのチャンネル画像のみ音声同期の両方の設定が可能。
 - ・ チャンネル非表示設定機能。
 - ・ PTZ制御に対応、プリセット、パトロール機能。
 - ・ 多ユーザ管理機能。
 - ・ USBマウス、RS-485キーボード対応。
- HDD管理
 - ・ 最大1台のHDDの搭載が可能、（最大2TB）。
 - ・ S. M. A. R. T. 機能搭載。
 - ・ HDDハイバネーション機能。
 - ・ ウィンドウズフォーマットに互換性と、プリアロケーション機能を搭載。

- 録画と再生
 - ・ 多彩な録画設定（常時/イベント/手動）。
 - ・ モーション検出時録画設定。
 - ・ 8つの時間帯で、独立した録画設定が可能。
 - ・ イベントに対して、プリ/ポスト録画が可能。
 - ・ ポーズ/再生/早送りなどの再生機能を搭載し、マウスによるプログレスバー操作に対応。
 - ・ 4ch同期再生機能。

- バックアップ
 - ・ USBストレージ機器や SATA CD/DVDへのバックアップをサポート。
 - ・ バックアップ機器のメンテナンスとそれに関する管理機能。

- アラーム
 - ・ DVRとIPカメラのアラーム入/出力管理。
 - ・ モーション検出/ネットワーク切断検出/遮蔽検出/ビデオロス検出。

- ネットワーク
 - ・ 10/100/1000M のネットワーク対応。
 - ・ TCP/IP、DHCP、DNS、DDNS、NTP、SADP。
 - ・ TCP、UDPのユニ/マルチキャスト、RTPのユニキャストに対応。
 - ・ リモート再生/ファイルダウンロード機能。
 - ・ リモートでDVRの設定機能。
 - ・ リモートで各デバイス情報、システムログ、アラーム状態の監視機能。
 - ・ リモートでDVRフロントボタンのロック機能
 - ・ リモートでHDDフォーマット/再起動/シャットダウン/メンテナンス機能
 - ・ DVRでのアラームや特殊通知をホストへ通知。
 - ・ リモートでユーザ管理機能
 - ・ モートでJPEG取得が可能
 - ・ リモートでPTZ操作
 - ・ ボイストークとブロードキャスト機能
 - ・ WEB サーバ搭載

- 開発支援
 - ・ WindowsとLinux用SDKを用意。
 - ・ デモソフトウェアを用意。
 - ・ 開発支援体制を用意。

1.3. NVRの接続



1.4. NVRの操作

DVR への操作は、フロントパネル、マウス、IR リモコン、もしくは、ソフトウェアキーボードからできる。

1.4.1. フロントパネルからの操作



- ① USBマウス
- ② コントロールボタン

ボタン	機能
1Main Menu	数字1 -- メインメニュー
2ABC/F1	数字2 -- ABC -- PTZモードでカメラのライトを点灯
3DEF/F2	数字3 -- DEF -- ページ送りボタン/チャンネル名とOSD表示位置設定

4GHI/ESC	数字4 -- GHI -- メニュー操作時のESCキー(戻るキー)
5JKL/EDIT	数字5 -- JKL -- 編集ボタン、テキストボックス中では、BSキーとして動作 -- チェックボックスでは、チェック/無切り替えボタン -- プレイバック時はビデオクリップ作成
6MNO/PLAY	数字6 -- MNO -- プレイバックメニュー表示 -- オートスキャン (コントロールメニュー)
7PQRS/REC	数字7 -- PQRS -- 手動録画
8TQV/PTZ	数字8 -- TQV -- PTZモード
9WXYZ/PREV	数字9 -- WXYZ -- ライブ映像の切り替え
0/A	数字0 -- WXYZ -- 数字/アルファベット/記号の切り替え

③ SHIFT
コントロールボタン機能の切り替え

④ Control Buttons

- ・ DIRECTION

プレビュー時はカーソル移動などの操作。
プレイバックモード時、上下ボタンは早送り/巻き戻し。
左右ボタンは、日付変更。

- ・ Enter

設定/編集時の確定/選択。
プレイバックモード時は再生/ポーズ。
シングル再生モード時はコマ送り再生左右ボタンは、日付変更。

⑤ 状態表示ランプ

NVRの各部の状態を表示。

- ・ POWER 動作時緑色が発光。
- ・ Status 赤外線コントローラー使用時点灯。
- ・ TX/RX TX/RX ネットワーク接続時点灯。

1.4.2. リモコンからの操作



番号	ボタン	機能
1	Power	電源
2	DEV	リモコンロック
3	Alphanumeric	数字とアルファベット入力
4	EDIT	アイリスオープン
5	A	焦点を近く
6	REC	録画
7	PLAY	プレビュー
8	INFO	ズームイン
9	VOIP	メイン / スポット / ズームアウト
10	MENU	メニュー
11	PREV	戻る / 焦点を遠く
12	DIRECTION/ENTER	早送りと巻き戻し / 確認
13	PTZ	PTZ / アイリスクローズ
14	ESC	ESC
15	RESERVED	未使用
16	F1	F1 / タイト
17	PTZ CONTROL	PTZ 制御
18	F2	F2 / AUX

1.4.3. マウスからの操作

DVR のフロントパネルの USB コネクタに USB マウスを接続する。
認識した後、普通の PC 上と同じ直観的な操作ができる。

① 右ボタン

シングルクリック	メニューの選択 / 項目の確定
ダブルクリック	画面切り替え表示
ドラッグ	カメラのパンティルト操作

② 左ボタン

シングルクリック	ポップアップメニュー表示
----------	--------------

③ スクロールボタン

スクロールアップ	プレビュー時、画面の表示を1つ前のCHに変更 メニューモード時、前の項目に移動
スクロールダウン	スクロールアップと対称の動作

1.4.4. ソフトキーボードからの操作

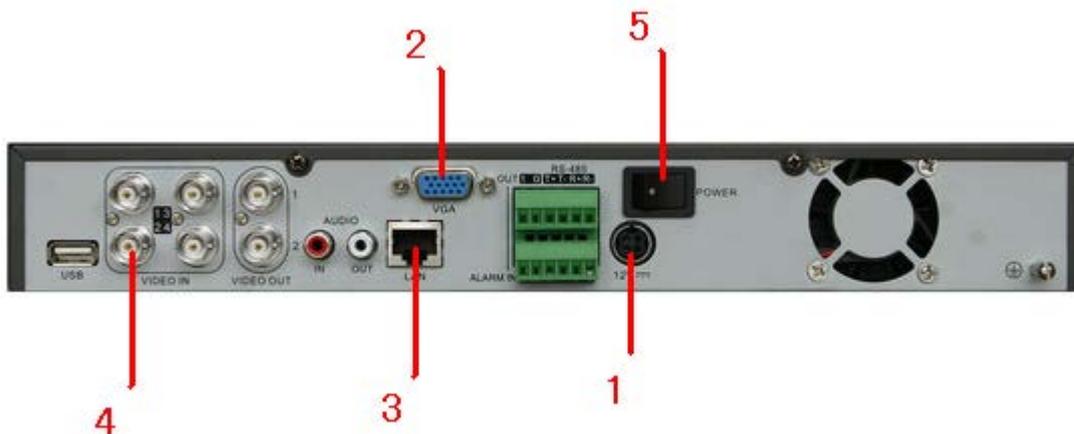
文字入力ボックスでマウスクリックすると、下図のキーボードが表示される。



	A	大文字
	”	シンボル
	a	小文字
	←	前文字を削除
	Enter	Enter
	ESC	ESC

2. NVRの基本設定

2.1. NVRの起動



- 1 電源コードを接続する。
- 2 VGA コネクタでモニターと接続する。
- 3 LAN ケーブルでネットワークスイッチ・ハブに接続する。
- 4 アナログカメラを接続する(最大四台まで)。
- 5 電源ボタンをオンにする。起動画面が表示される。

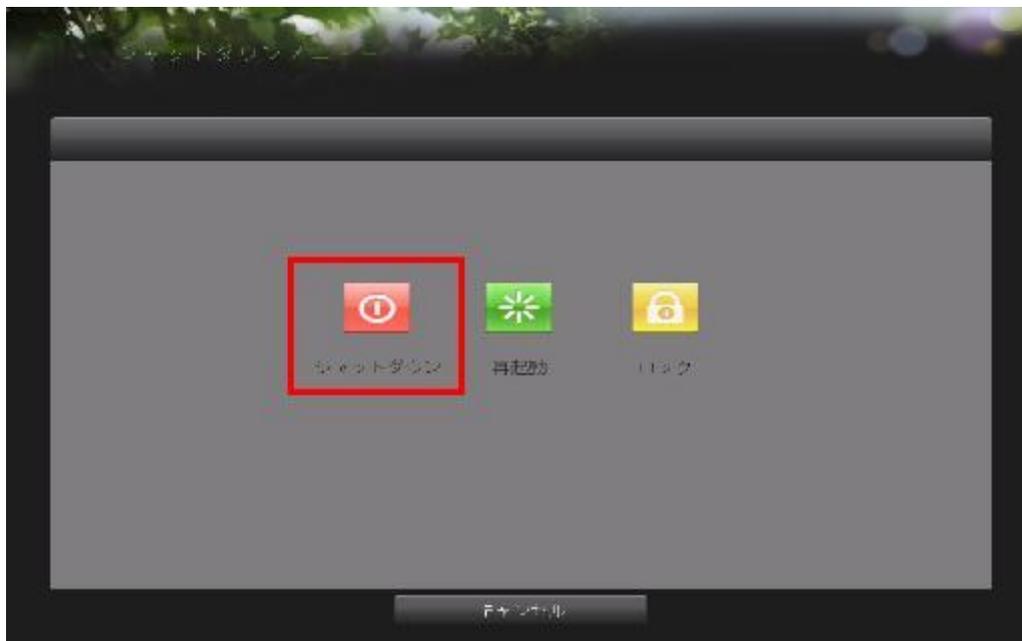


※ マウスからの操作をお勧め
(C)2011 Javatel Co., Inc.

2.2. NVRのシャットダウン

二つの方法でシャットダウンできる。

- ✓ シャットダウンメニューからシャットダウンを行う



- ✓ 手動シャットダウン
電源ボタンを三秒以上長押し。管理者パスワードを入力してシャットダウンを行う。

2.3. 日付と時刻の設定

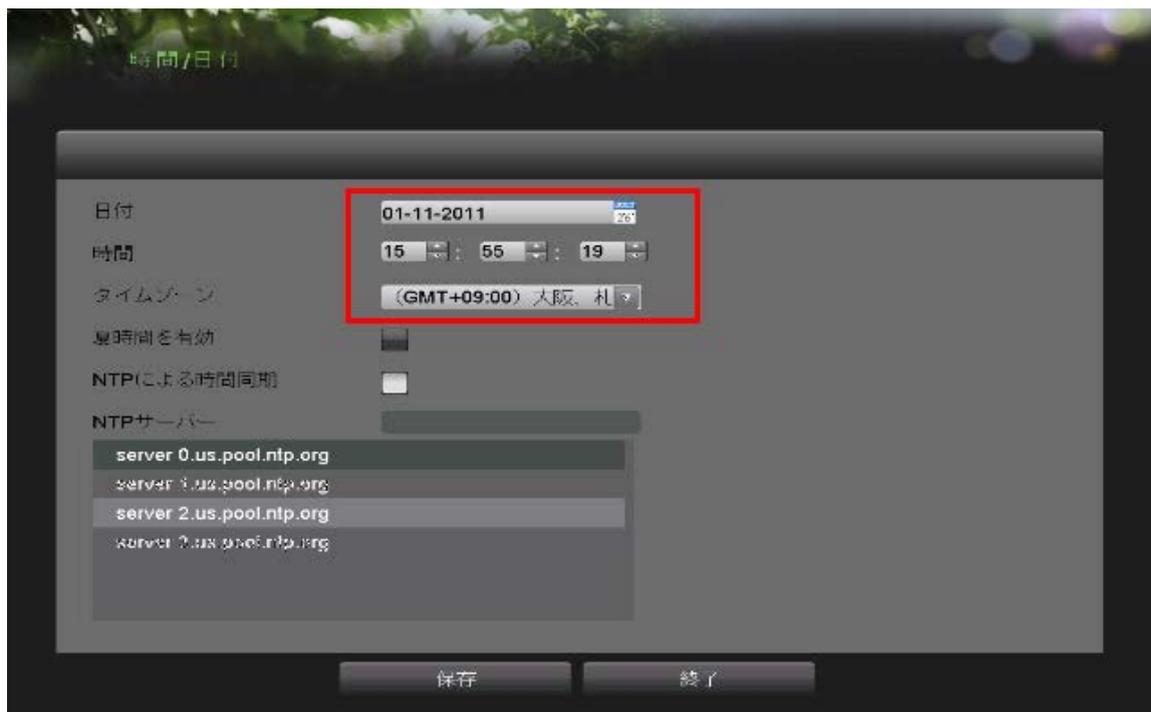
- ※ 使用開始時に時刻の調整を行ってください。



- 1 上記のメニューからシステムメニューへ進む。



2 システムメニューから「時刻/日付」項目へ進む。時刻と日付を調整する。



※ ネット上のNTPサーバによる時刻同期の場合は、「NTPによる時刻同期」でチェックを入れて、NTPサーバを設定する。

3 設定が終わったら、「保存」をクリックする。

2.4. 状態確認

- 1 メインメニューから状態を選択して、DVR の情報が表示される。



ファームウェアバージョン、NVRのIPアドレス、ディスク容量などの情報を確認できる。

2.5. NVRネットワークの設定

- 1 システムメニューから「ネットワーク」項目へ進む。ネットワークを設定する。



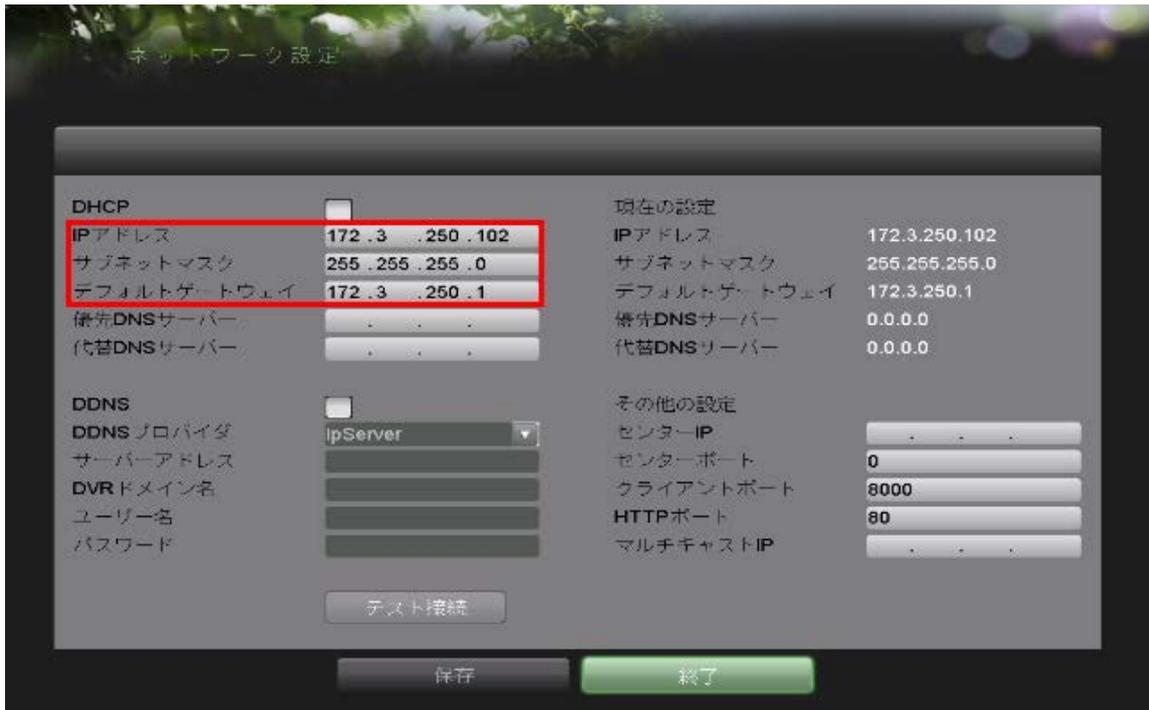
2 普通、静的 IP を使う場合、NVR のネットワークを設定するには、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイだけで十分です。

設定例

「DHCP」のチェックボックスを外す。

IP	172. 3. 250. 102
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	172. 13. 250. 1

※ 実際の NVR の IP などの情報は事前にネットワーク管理者に確認してください。



2 設定が終了後、「保存」をクリックして、「終了」をクリックする。

2.6. カメラの接続

HYBRID NVRでは、IPカメラとアナログカメラを混在して同時に使用することが可能である。

※ IP カメラの使用には、ネットワークの設定が必要。カメラの IP 設定は HIKVISION カメラの簡易マニュアルをご参考してください。

2.6.1. IPカメラの追加

- 1** メインメニューからカメラの設定・カメラの追加/削除をクリックする。
- 2** IPC のタグを選択する。
- 3** 「検索」ボタンをクリックすると、ネットワーク上のカメラが表示される。

- 4 追加したいカメラを選択し、カメラの管理者パスワードを入力、「接続テスト」をクリックして、「追加」をクリックする。



- ※ カメラの管理者パスワードを事前にネットワーク管理者に確認の必要がある。
- ※ 検索されたカメラ自動接続をする場合は自動接続のチェックボックスでチェックを入れる。

- 5 正常に追加したカメラは下のカメラリスト欄内に表示される。



2.6.2. アナログカメラの追加

- 1 アナログのタグを選択する。
- 2 有効したいアナログカメラのチャンネルにチェックを入れる。
- 3 設定した後「保存」をクリックする。



※ チャンネル番号はバックパネルのアナログ「Video In」端子に合わせる



※ 設定を有効するには、NVR 再起動の場合がある。

3. ライブ映像

NVR は起動後、自動的にライブビューモードで動作する。

各アイコンの説明

	イベント/アラームを監視する設定の時に表示
	録画中状態を通知
	画像調整
	PTZ コントロールモード中表示
	PTZ プリセット呼出
	PTZ パトロール呼出
	PTZ ツアー呼出
	PTZ ズームイン/アウト
	全画面表示/元画面復帰
	音声を ON/OFF
	閉じる操作
	パンティルト操作

3.1. ライブ監視操作

プレビューモード中に、マウスで、ウィンドウをクリックして選択すると、ウィンドウに緑の枠が表示され、選択状態となる。

3.1.1. 画像調整

- 1 調整するカメラのウィンドウを選択する。
- 2 画面調整アイコン  をクリックする。



- 3 調整が終わったら、閉じるアイコン  をクリックする。

(C)2011 Javatel Co., Inc.

3.1.2. PTZ コントロール

- 1 PTZ カメラのウィンドウを選択する。
- 2 PTZ コントロールアイコンをクリックし、画面中に制御用アイコンが表示される。



- 3 PTZコントロールの各アイコンをクリックして、パン/チルト/ズームなどの操作を行ってください。プリセット/パトロールの呼び出しやPTZツアーの開始も可能。
- 4 調整が終わったら、閉じるアイコンをクリックする。

3.1.3. 音声

音声の有効/無効の設定を行う。

- 1 音声を有効/無効に変更するカメラウィンドウを選択する。
- 2  アイコンをクリックして、状態を変更する。

3.1.4. 全画面表示

- 1 全画面にしたいウィンドウを選択する。
- 2  アイコンをクリックすると、全画面になる。
- 3 閉じるアイコンで、元画面に戻る。

3.2. パタンの切り替え

プレビュー画面でマウスを右クリックすると、下のようなメニューが表示される。

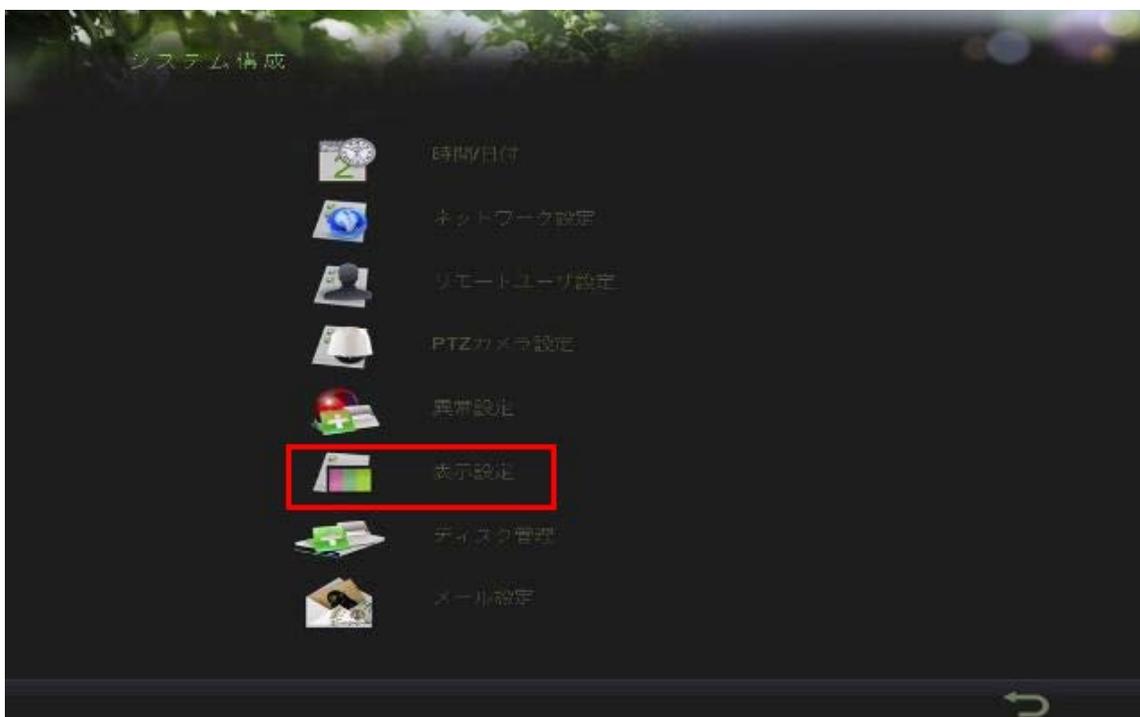


上記画面のボタンにより、4分割、9分割、16分割と画面の自動切り替えすることが可能。

3.3. カメラ映像の配置設定

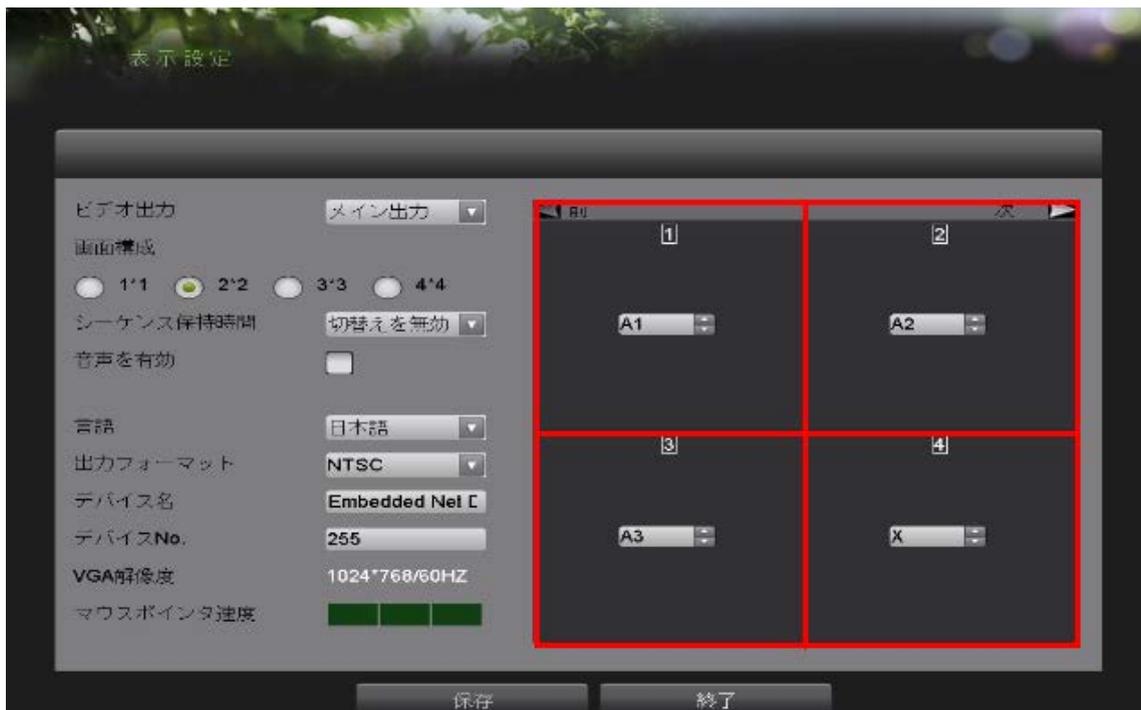
分割画面中のカメラの配置を設定する。

- 1 メインメニューから「表示設定」を選択する。



- 2 右側の分割画面の各カメラウィンドウに選択ボックスが表示され、選択ボックスから、その位置に表示させたいカメラ CH を選択する。

- 3 配置が完了したら、「終了」をクリックする。



4. 録画と映像品質

録画の方法は数種類用意されている。スケジュールによる録画/アラームなどの外部接点をトリガーとするアラーム録画/動きを検出して録画する、モーション検出録画、また、それぞれの録画方法を複合したスケジュール録画の設定も可能。目的に応じた、多彩な設定が出来る。

メインメニューから「録画設定」の項目へ進む、下記のメニューを呼び出す。



4.1. 映像品質の設定

1 録画設定メニューから、録画品質設定を選択する。



2 映像品質を修正したいチャンネルを選択する。そして、解像度、フレームレート、画質、ビットレートにたいして、最適な設定をする。

3 設定が終了後、「保存」をクリックして、「終了」をクリックする。

※ 保存期間を設定すると、録画した時点から、指定した保存機関が経過したファイルを削除する。「0」に設定すると、DVR はディスクがいっぱいになり。「上書き」設定が有効な場合に、自動的に最も古いファイルから順次削除する。

4.2. クイックスケジュール設定

1日のスケジュール簡単に設定することが出来る。

1 録画メニューから、クイックスケジュールを選択する。



2 スケジュールするカメラを選択する。全てのカメラに同じ設定をする場合は、「全て」を選択する。

3 「有効」ボックスにチェックをする。ここで、チェックをしなければ、スケジュール設定は DVR の動作に反映されませんので、ご注意ください。

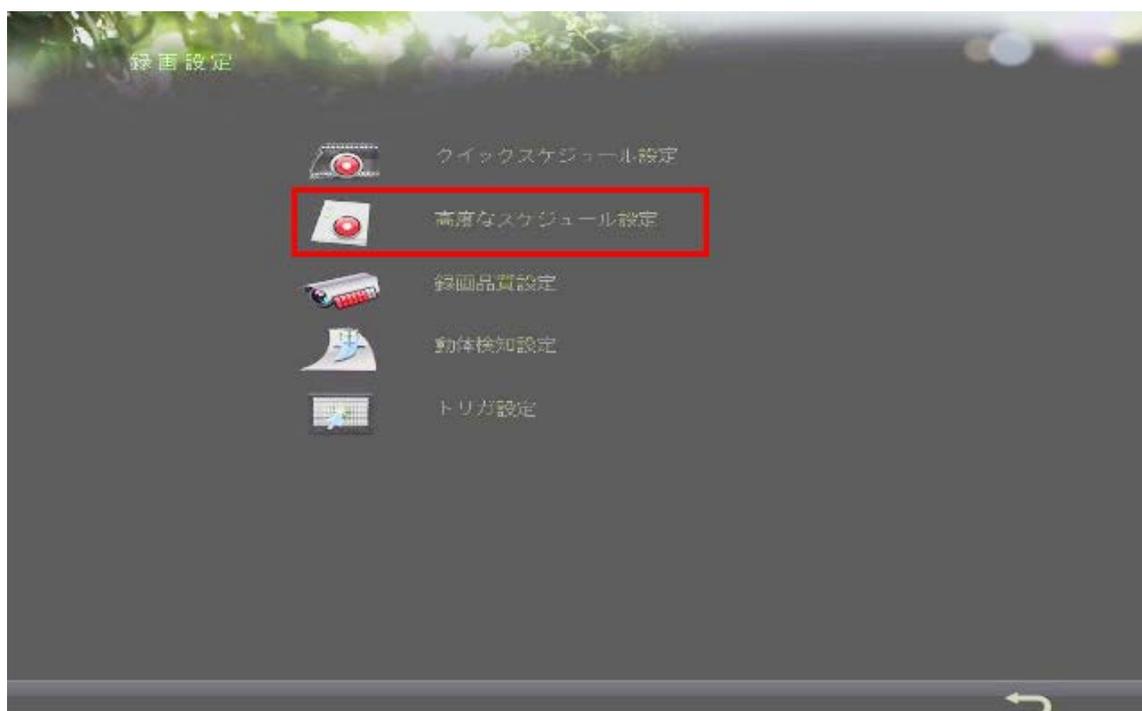
4 24 時間/1 週間通じて、「連続」もしくは「イベント」録画をする場合はこのチェックボックスを選択してください。



4.3. アドバンスドスケジュール設定

アドバンスドスケジュール設定では、さらに詳細なスケジュールの設定ができる。

- 1 録画メニューから、アドバンスドスケジュール設定を選択する。



- 2 スケジュールするカメラを選択します。全てのカメラに同じ設定をする場合は、「全て」を選択する。

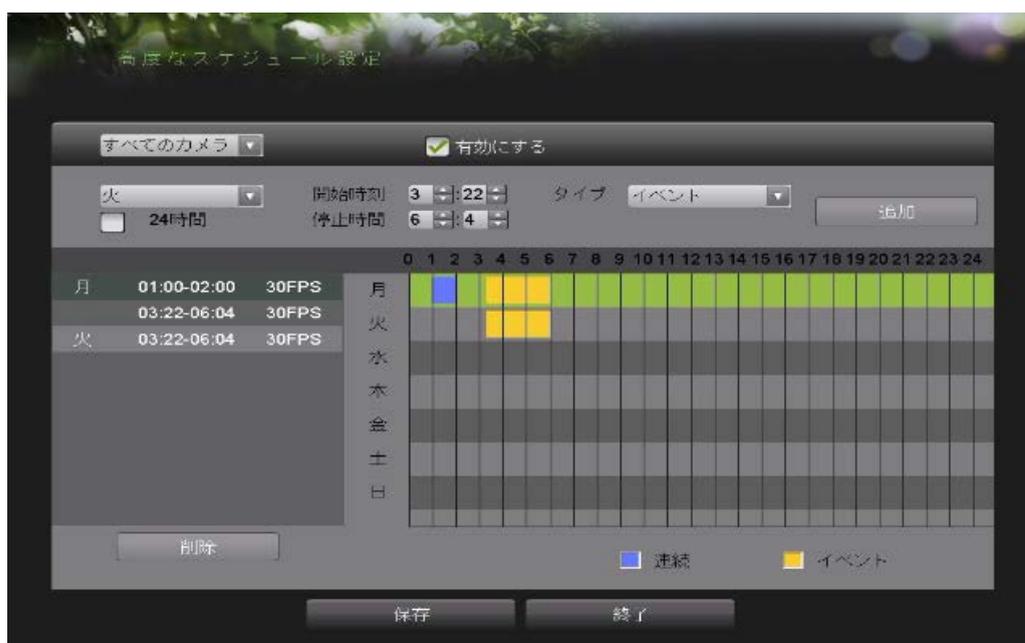
- 3 「有効」ボックスにチェックをする。ここで、チェックをしなければ、スケジュール設定は DVR の動作に反映されませんので、ご注意ください。

4 スケジュールから曜日を指定する。また、24時間/1週間通じて、「連続」もしくは「イベント」録画をする場合はこのチェックボックスを選択してください。

5 スケジュール時間を指定して、録画するタイプを選択する。



6 「追加」をクリックすると、設定した内容が、画面左側に追加され、さらに、右のグリッドには、指定したスケジュールが色分けして表示される。連続録画は、「黄色」、イベント(アラーム)録画は、「青色」で表示される。



7 設定がおわれば、保存して、「終了」をクリックする。

5. 再生

メインメニューからプレイバック(再生)を選択する。



5.1. 録画ファイルの検索

- 1 プレイバック(再生)モードにする。
- 2 カメラチャンネルを指定する。
- 3 カレンダーを操作して、再生する日付を選択する。記録ファイルが存在する日付は明るい青色で表示される。ファイルが全く存在しない日付はダークグレイで表示される。



4 選択した日付の24時間中のファイルが表示される。マーカーは、緑色の縦線で表示する。再生操作をすれば、自動的にマーカーが移動する。また、マウスで、直接マーカーを操作して、再生時間を大まかに指定することも可能。

5 再生ボタンで再生を開始する。



5.2. 複数カメラを同時再生

同時に複数のチャンネルを再生することが出来る。画面右のチャンネルセレクターでカメラを選択する。



※ 最大16チャンネルの、マルチ再生が可能。

6. ビデオのバックアップ

6.1. ビデオクリップのバックアップ

ビデオを NVR から様々なデバイスにバックアップすることが可能。

6.1.1. ビデオクリップの作成

プレイバックモードから以下のボタンを使ってビデオクリップを作成する。



 開始	クリップの開始ポイント / クリップの終了ポイント
 再生	ビデオクリップの再生
 保存	ビデオクリップを HDD に保存
 クリア	作成したビデオクリップ情報を削除

- 1 検索操作で再生するファイルを決定する。
- 2 ブルーバー上で開始ポイントを選択する。

- 3 「クリックを開始」をクリックする。
- 4 ブルーバー上で終了ポイントを選択する。
- 5 「クリックを停止」をクリックする。
- 6 クリップされたファイルの情報が画面の下側に表示される。



- 7 クリップ保存ボタンでビデオを NVR 内の HDD に保存してください。

6.1.2. ビデオクリックのバックアップ

HDD に保存したビデオクリップを USB メモリや DVD へバックアップする。

- 1 再生モードから「クリックバックアップ」をクリックしてバックアップ画面を表示する。HDD にビデオクリップがあれば、画面左側のリストボックスにすべて表示される。



- 2 バックアップするファイルを選択して、チェックする。
- 3 ファイル名の右側の再生ボタンで、確認再生ができる。不要なファイルは、削除ボタン

で削除する。

4 バックアップをする USB デバイスを NVR に接続し、自動的にデバイスを検出するので、保存先のデバイスをデバイスリストから選択する。

5 バックアップに必要なデータ容量と、USB デバイスの空き容量などの情報が表示される、USB デバイスが未フォーマットの場合、「フォーマット」をクリックし、フォーマットを実行してください。

※ フォーマットをすると、保存されているデータはすべて消去される。

6 設定が完了したら、「バックアップ」ボタンでバックアップを開始する。

6.1.3. 録画ファイルのバックアップ

クリップビデオ以外にも、保存されているファイルをそのままバックアップすることが可能。

1 メインメニューからファイル管理メニューを選択する。

2 バックアップするファイルをリストから選択する、ファイルのトータル容量が随時更新表示されるため、全てのファイルを選択することもできる。

3 選択が完了したら、「バックアップ」ボタンをクリックする。



4 バックアップメニュー画面が表示されるので、バックアップするデバイスを接続する。NVRは自動的にデバイスを認識して、デバイス内のファイルをリスト表示する、「更新」

をクリックして、表示を更新してください。デバイスの書き込み可能な容量が表示される。

4 容量を確認して、必要なら、USBデバイス内のファイルの削除を行って書き込みスペースを作成してください。フォーマットが必要な場合、ここからフォーマットしてください。

5 容量などの確認ができましたら、「バックアップ」をクリックして、作業を開始する。同時に、バックアップの進捗状況を表示する。

6 完了したら、「OK」をクリックして、「終了」をクリックする。

7. システムの設定

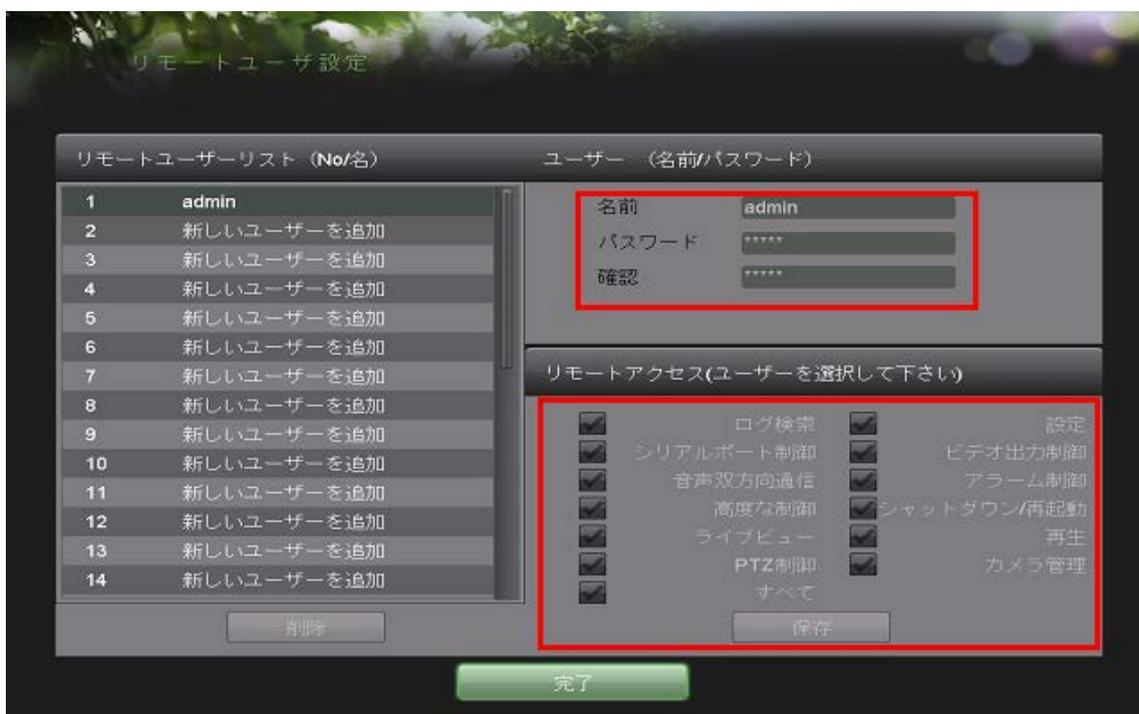
7.1. ユーザ管理

初期値では、ユーザは管理者のみとなっている。管理者アカウント名は「admin」、パスワードは「12345」である。管理者には、NVRの操作全ての権限が設定されている。

7.1.1. リモートユーザの追加

最大 31 人まで、リモートユーザを追加することができる。

1 メインメニュー→システム設定→リモートユーザ設定へ進む



2 各ユーザに対し、パスワードと権限の設定ができる。

権限項目	説明
ログ検索	NVR のログ検索
シリアルポート制御	RS232 / RS485 の制御
双方向音声通話	双方向音声通信
高度な制御	HDD 管理 / システムのアップデート / リレー出力の停止
ライブビュー	ライブ映像
PTZ 制御	PTZ カメラのコントロール
設定	システムの設定
ビデオ出力設定	映像品質に関する設定
アラーム制御	アラームの設定
シャットダウン / 再起動	システムのシャットダウンと再起動
再生	再生

カメラ管理	カメラの追加と削除
すべて	全権限

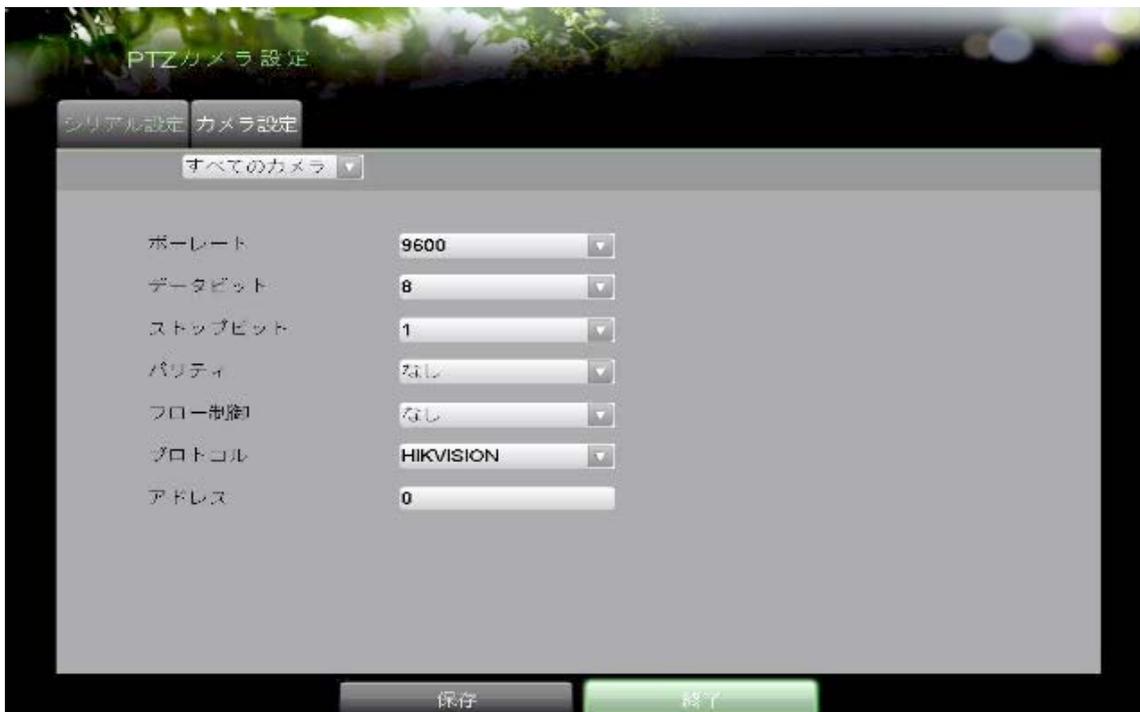
3 「保存」をクリックし、ユーザ追加を完了する。

7.2. PTZカメラの設定

7.2.1. PTZカメラの基本設定

PTZ カメラを使用する場合は、最初に PTZ と RS-485 の設定を行う。

1 メインメニュー→システム設定→ PTZ 設定を選択へ進む。



2 シリアルポート設定タブを選択する。

3 設定をする PTZ カメラを選択する。PTZ カメラの各設定をする。
 ※ 使用する PTZ カメラの取扱説明書の記載通りに設定してください。

4 アドレスは PTZ カメラと同じでなければなりません。

5 「保存」して終了する。

7.2.2. PTZカメラのテストと設定の編集

1 PTZ 設定画面でカメラ設定を選択する。下図のような画面が表示される。



- 2 テストするカメラを選択し、画面右下に下図のようなコントロールボタンが表示される。



- 2 ボタンを押して正しくカメラが動作しているかプレビューウィンドウで確認する。

- 3 設定を確認した後、「完了」をクリックする。

7.2.3. PTZカメラのプリセット設定

- 1 PTZ 設定画面を表示する。
- 2 カメラ設定タブを選択する。
- 3 「プリセット保存」をクリックし PTZ コントロールボタンで希望の位置に移動する。

4 画面左上のプリセットナンバーをダブルクリックする。現在の位置がダブルクリックした数字でプリセット保存される。

※ 設定を確認するには、まず、カメラを違う位置に移動させる次に「プリセット呼出」を選択して設定したプリセット No をクリックする。設定位置に移動すれば、設定は正しく完了。

※ 画面上では、23 プリセットのみ表示されていますが、最大 200 プリセットが可能。

7.3. モーション検出とイベント通知

動きを検出して録画をするモーション検出録画の設定である。モーション検出はイベントとして記録されるので、記録データを検索する際にイベント検索で利用することが可能。

7.3.1. モーション検出の設定

1 メインメニュー→録画設定→モーション検出



2 カメラを選択する。

3 検出を有効にするチェックボックスにチェックをする。

4 感度調整バーで、感度を設定する。

5 右の表示エリア内でマウスをクリックして、モーション検出する領域を選択する。「全

画面」をクリックすれば、画面全体が検出エリアとなる。

6 設定した領域を削除する時は”削除”ボタンをクリックする。

7 以下の項目からモーション検出したときの動作の設定を選択する。

- アラーム警報
- ポップアップ表示
- センターへ通知
- Email送信
- トリガーアラーム出力

8 設定を確認した後、「完了」をクリックする。

7.3.2. アラーム入力とトリガーの設定

NVR は外部のセンタサーやスイッチによるアラームを監視して動作を行う。

■ アラーム入力ポートの設定

1 メインメニュー→録画設定→トリガー設定を選択する。



2 録画トリガータブを選択する。

3 録画するカメラを選択する。1つのトリガーに複数、もしくは全てのカメラを対応することも可能。

4 トリガーイベントを有効にするチェックをする。

5 トリガーNo を選択する。

6 「保存」ボタンで設定を終了する。

■ トリガー入力ポートの設定

1 メインメニュー→録画設定→トリガー設定を選択する。



2 トリガーアクションタブを選択する。

3 トリガー入力 No を指定する。

4 トリガーの入カタイプ (N. 0/N. C) を指定する。

5 PTZ カメラを連動させる場合は、PTZ 動作を選択する。

※ トリガー入力に設定できる PTZ の動作は 1 つだけである。

6 トリガー入力自の動作を下記の項目から選択する。(1つのトリガーには、複数の動作を設定することが出来る)

- アラーム警報
- ポップアップ表示
- センターへ通知

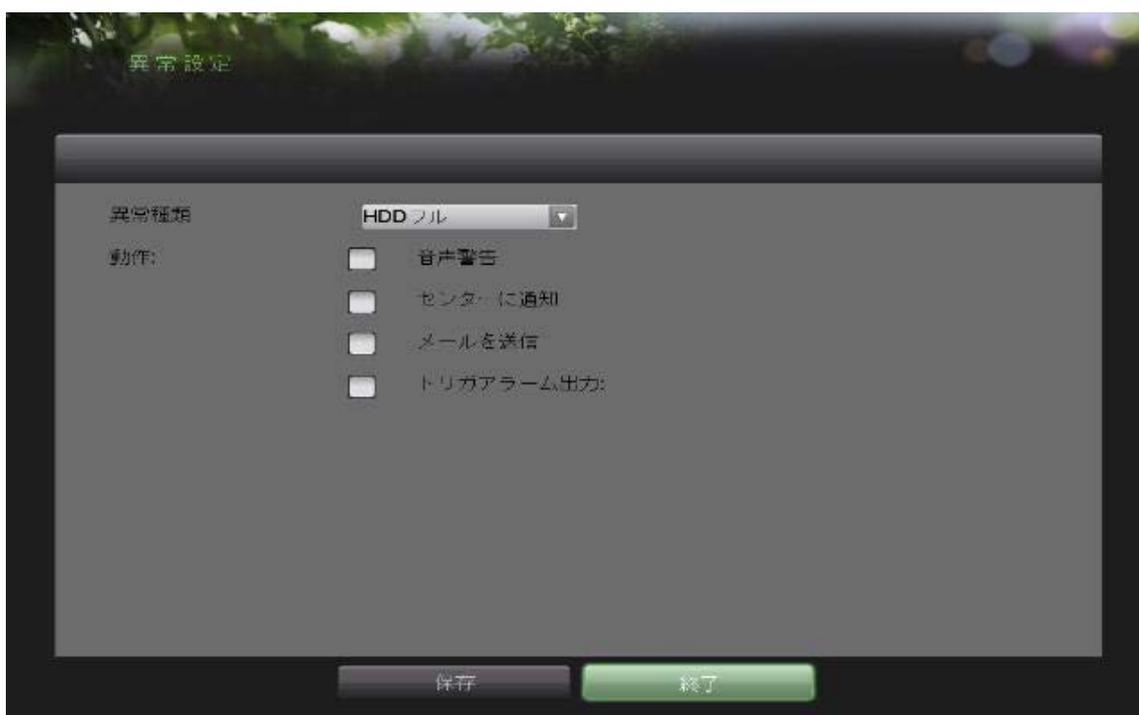
- Email送信
- トリガーアラーム出力

7 「保存」ボタンで設定を終了する。

7.3.3. イベント通知

NVR の内部動作の状況をアラーム(トリガーとして)で通知する。

1 メインメニュー→システム→設定異常設定へ進む。



2 アラーム通知(トリガー)を選択する。

- HDDフル
- HDDエラー
- Networkエラー
- IP衝突
- 不正ゲイン
- ビデオ入力異常
- Iビデオ出力不具合

3 上記の通知を検出したときの動作を指定する。

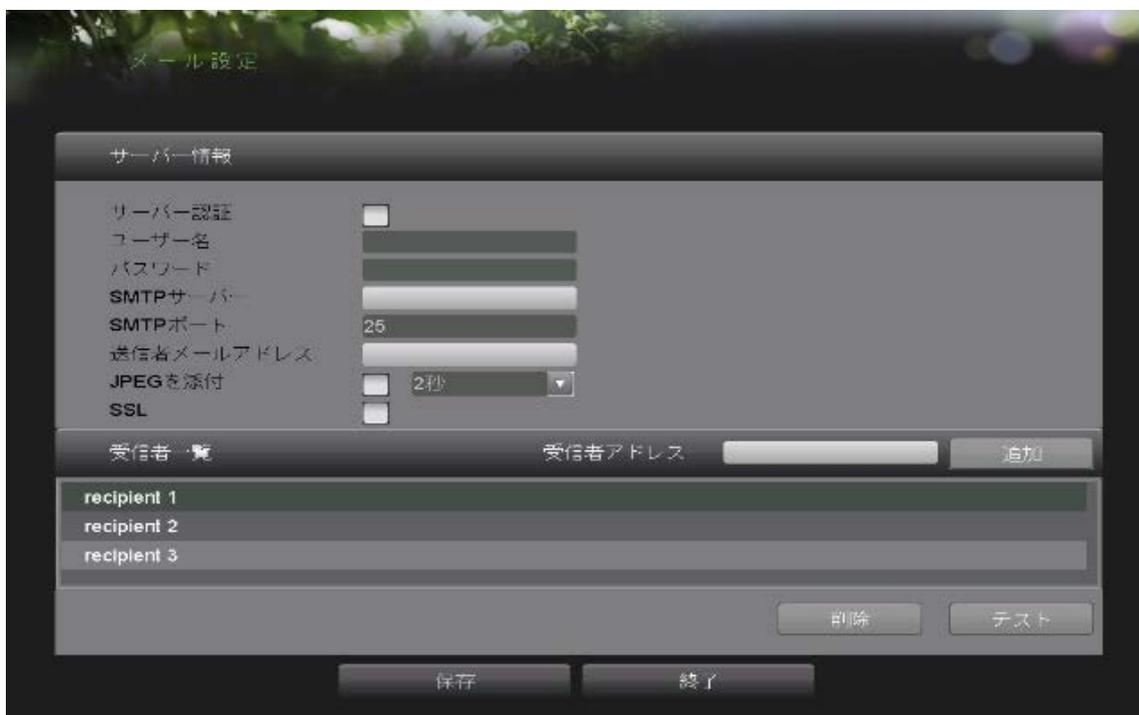
- アラーム警報
- センターへ通知
- Email送信
- トリガーアラーム出力

4 「保存」ボタンで設定を終了する。

7.3.4. E-mail の設定

NVR から各種のアラームや情報を E メールで通知することが可能。

1 メインメニュー→システム設定→E メール(E-mail)設定へ進む。



2 サーバの認証でチェックマークを入れて下記の設定項目をすべて入力する。

- ユーザ名
- パスワード
- SMTP Server
- SMTP Port
- 差出人アドレス
- JPEG添付 (オプション カメラ映像のScreenshot)
- SSL(オプション SSLを使用する場合はチェックする)

3 受取人アドレスを入力して「追加」をクリックし、受取人リストに追加される。

4 設定を確認するために「テスト」で送信のテストを行ってください

5 受取人を削除する場合は、リストから受取人を選択して「削除」をクリックする。

6 「保存」ボタンで設定を終了する。

8. カメラの設定

8.1. プライバシーゾーンの設定

- 1 カメラ設定メニュー→プライバシーへ進む。
プライバシー設定画面でゾーンを設定するカメラを選択する。



- 2 ゾーンを有効にチェックする。
- 3 画面上でマウスのクリック&ドラッグで口枠を作成する。ゾーン最大で4つ作成することが出来、各ゾーンは色分けされて表示される。
- 3 ゾーンを削除する時は画面左の「削除」をクリックする。
- 4 「保存」ボタンで設定を終了する。

8.1. カメラ妨害検出の設定

カメラを意図的に遮蔽する行為を検出する設定である。

- 1 遮蔽検出の設定を選択する。



- 2 検出を設定するカメラを選択する。
- 3 有効にするチェックをする。
- 4 遮蔽検出の感度を設定する。
- 5 マウスを使用して、プレビュー上に口枠を作成する。
- 6 ビデオ遮蔽を検出するときの動作を設定し、すくなくとも1つは設定する必要がある。
 - アラーム警報
 - センターへ通知
 - Email送信
 - トリガーアラーム出力
 - センターへ通知
- 7 「保存」ボタンで設定を終了する。

8.2. ビデオロス検出の設定

カメラからの信号が途絶えた時に検出する設定です。

- 1 カメラ設定メニュー→ビデオロス検出へ進む。



- 2 検出を設定するカメラを選択する。
- 3 有効にするチェックをする。
- 4 ビデオロスを検出するときの動作を設定し、すくなくとも1つは設定する必要がある。
 - アラーム警報
 - センターへ通知
 - Email送信
 - トリガーアラーム出力
 - センターへ通知
- 5 「保存」ボタンで設定を終了する。

8.3. OSDの設定

画面上に表示する情報に関する設定

- 1 カメラ設定メニュー→OSD設定へ進む。



2 設定するカメラを選択する。

3 以下の項目を設定する。

- カメラ名(英数字のみ)
- カメラ名表示
- 日付表示
- 曜日表示
- 日付表示形式
- 時間表示形式
- OSD スタイル

※ 表示場所はマウスでクリックして動かすことができる。

4 「保存」ボタンで設定を終了する。

9. NVRの管理

9.1. システムの管理

9.1.1. ファームウェアのアップグレード

USB メモリを使用して、システムをアップデートすることが出来る。

- 1 メインメニュー→メンテナンス→ファムウェアアップグレードへ進む。

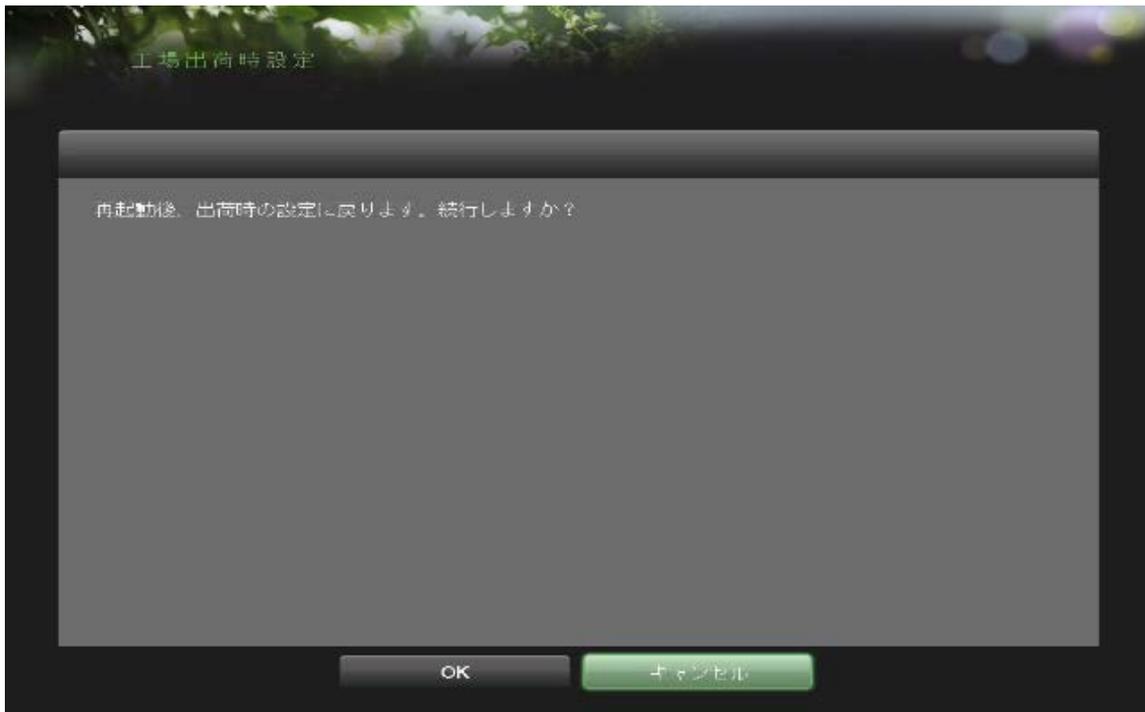


- 2 USB メモリを DVR に接続する。
- 3 「リフレッシュ」をクリックして、画面を更新して、USB 内のファイルを表示する。
- 4 更新ファームウェアを選択する。
- 5 「アップグレード」をクリックして、作業を開始。DVR は自動的にアップグレード動作を行い、再起動する。

9.1.2. 初期化

NVRを出荷時の設定に復帰する。

- 1 メインメニュー→メンテナンス→工場出荷値へ進む。



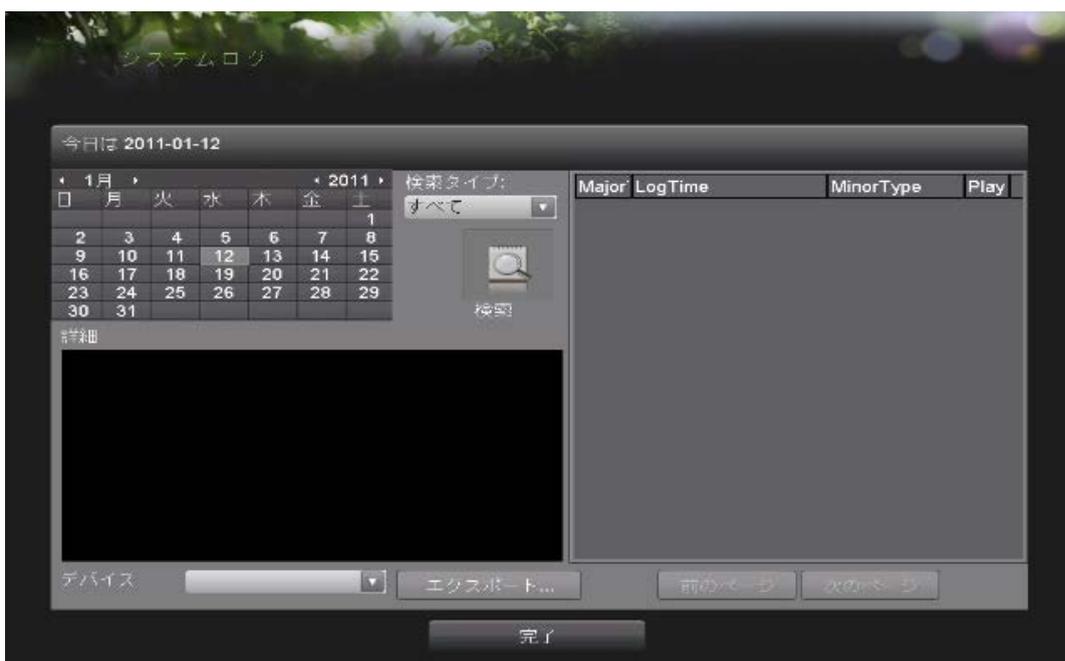
2 「OK」をクリックする。

※ ネットワーク設定値 (IP アドレスなど) は、変更されません。

9.2. システムログビュー

NVR での様々なイベントは、内部にログファイルとして保存されている。

1 メインメニュー→メンテナンス→システムログへ進む。



- 2 カレンダーから検索する日付を選択する。
- 3 ドロップダウンリストからログのタイプ(アラーム、イベントなど)を選択する。
- 4 「検索」をクリックする。検索結果は右のリストボックスに表示され、複数のページにわたる項目がある場合は、ページ変更ボタンを操作して画面を変更してください。



- 4 リストを選択すると、さらに詳しい情報が表示される。
- 5 再生ボタンをクリックすると、その時点での映像を再生表示する。
- 6 ログ情報は USB メモリへ書き出すことが可能。この場合、USB メモリを DVR に接続して「書き出し」をクリックする。
- 7 「保存」ボタンで設定を終了する。

9.3. システムメニューのロック

システムのメニューをロックして、不正な操作を防止することが出来る。

- 1 メインメニュー→メンテナンス→ロックへ進む



- 2 (管理者パスワードを編集)
- 3 「セット」をクリックする。
- 4 右のメニューリストから、ロックもしくは、ロック解除する項目を選択する。
- 5 ロックされたメニュー操作をする場合には、管理者パスワードの入力が必要になる。

10. iPhone、iPad、Androidと連携

2010年4月 Hikvision Digital Technology社（中国デジタルビデオ監視製品の主要な供給元）は、Apple iOSのためにiVMS-4500モバイル監視ソフトウェアを発表しました。

iVMS-4500モバイル監視ソフトウェアは、DS-7000/7300/8000/8100、DS-9000/9100シリーズDVRとDS-6000/6100シリーズ・デジタルビデオ・サーバー（H. 264ビデオ・コーデックをサポートするネットワーク・カメラとスピードドームだけでなく）を含むフルラインのHikvision製品をサポートする。

iVMS-4500は、最高4つのチャンネルのリアルタイム・ビデオ・プレビューが可能。iPhoneやiPad、Androidのタッチとドラッグ操作の特徴を完全利用することにより、プレビューモードでカメラPTZの制御ができる。そのうえ、最大16台のデバイスが管理されることが可能（デバイスプロフィールの追加、削除と修正）。

iVMS-4500は、洗練された特徴、例えば横画面モード、スナップショット、その他も提供する。iVMS-4500はApp Storeからダウンロード、利用可能である。

10.1. IOSの場合

1 インストール

iPhone のApp Storeで「iVMS-4500」を検索して、インストールしてください。

<http://itunes.apple.com/jp/app/ivms-4500-lite/id441697527?mt=8>

iPAD

「iVMS-4500 HD」を検索して、インストールしてください。

<http://itunes.apple.com/jp/app/ivms-4500-hd/id444917386?mt=8>



2 インストール後、起動する。

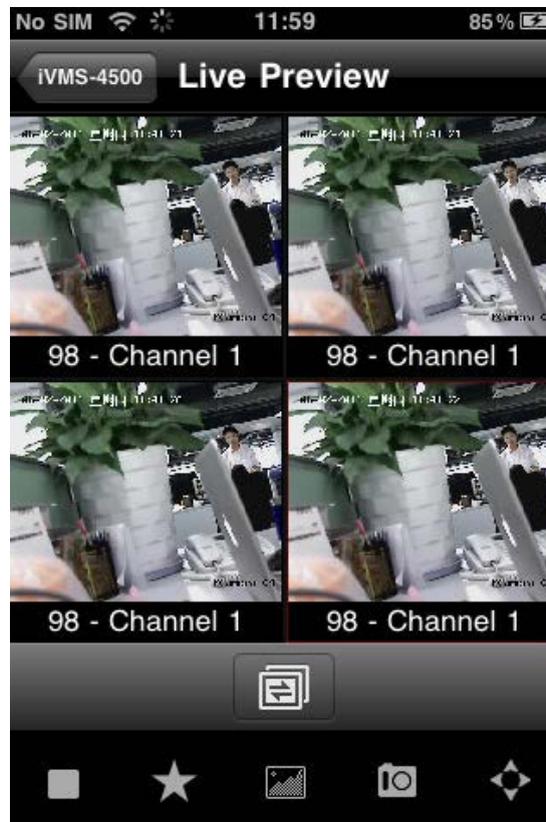
3 ユーザを登録する。次の画面が出てくる。



4 「Devices」をタッチして、デバイスを追加する。



- 5 「save」をタッチして保存した後「Preview」をタッチして各チャンネルの映像を確認する。



- 6 「特定タイルに対して、ダブルタッチしたら、全画面表示することが可能。」



10.2. Androidの場合

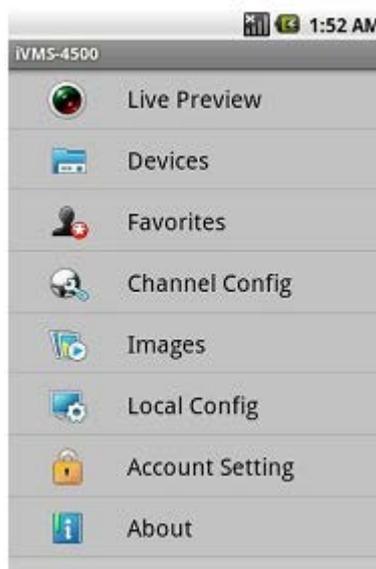
1 インストール

マーケットから「iVMS-4500」を検索して、インストールしてください。

https://market.android.com/details?id=com.mcu.iVMS&feature=search_result

2 インストール後、起動する。

3 ユーザを登録する。次の画面が出てくる。



4 「Devices」 をタッチして、「add」 でデバイスを追加する。

A screenshot of the "New Device" registration screen. The title bar shows the time as 1:16 AM. The form contains the following fields: "Device name" (empty text box), "Register mode" (dropdown menu set to "IP"), "Address" (empty text box), "Port" (text box containing "8000"), "User name" (text box containing "admin"), "Password" (text box with six dots), and "Chan No." (text box containing "16").

- 5 追加した後「Preview」をタッチして、「+」をタッチして各チャンネルの映像を確認する。





6 「特定タイルに対して、ダブルタッチしたら、全画面表示することが可能。」



11. FAQ

- 1** NVR が起動してから、ピープ音がある。
以下のいくつかの原因がある。
 1. ハードディスクが設置されていない。
 2. ハードディスクが初期化されていない。
 3. ハードディスクが正しく認識されていない。

- 2** リモコンを使用する時に、NVR は反応がない。
以下のいくつかの原因がある。
 1. リモコンのバッテリーが切れた。
 2. リモコンのバッテリーが正しく設置されていない。
 3. リモコンと NVR の間で障害物がないことを確認してください。
 4. リモコンと NVR の周辺は電子レンジを使用しているのか確認してください。

- 3** PTZ 機能を使用する時に、PTZ カメラは動作しない。
以下のいくつかの原因がある。
 1. RS-485 ケーブルが正しく接続されていない。
 2. ドームデコーダタイプが正しいかどうか確認してください。
 3. ドームデコーダスピード設定を確認してください。
 4. RS-485 のコネクタが壊れないか確認してください。

- 4** 動体検知設定した後、録画されない。
以下のいくつかの原因がある。
 1. 録画期間が正しく設定されていない。
 2. 動体検知の検知エリアが正しく設定されていない。
 3. 動体検知時の録画を開始することが設定されていない。